

旭ヶ丘キリストの教会  
新年礼拝順序  
2026年1月4日

司会：千田俊昭  
奏楽：千田祥子

黙祷		一同
讃美※	聖歌497「輝く日を仰ぐとき」	一同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃美	聖歌478「世人の咎のために」	一同
教会学校	絵本「ファーマーさんはみすてない」	牧師
讃美	聖歌181「神より生まれし者よ」	一同
聖書朗読	ヨハネ8:12-20	
奨励	2026新年メッセージ	牧師
主題	「光の中に」	
讃美	聖歌38「光かがやく」	一同
献金	献金と感謝の祈り	
聖餐		
頌栄※	聖歌378「栄えあれや」	一同
祝祷※		牧師
来週の箇所	使徒行伝20:13-37	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの方様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧説をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチヤン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（2コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《祈りの課題》

- ①家族の救いのために
- ②礼拝に来れなかった人々のために
- ③教会学校の子供たちが救われますように

《今週の歩み》  
1/4(日)聖日礼拝  
/5(月)  
/6(火)  
/7(水)  
/8(木)10:00祈り会  
/9(金)10-12:OBSクラス  
/10(土)13-16子供オーブンハウス



2026 旭ヶ丘の初日の出

良書ハイライト

「正しく迷う」  
(藤木正三・工藤信夫著「福音は届いていますか」より)

救いだけを語る宗教は人間を侮辱しています。書きだけを語る宗教は人間を過信しています。書きと共に救いを語る宗教は人間を甘やかしています。信仰において神が与えようとしているのは救いでも書きでもないのです。それは明晰です。

安住しようとしている足許を崩し、迷うべき本来の私の姿を自覚せしめてくれる、明澄なる人間への洞察です。信仰の賜物は迷いがなくなることではなくて、正しい迷い方なのです。迷いについてこそ語るのが信仰です。迷いについて何も語らぬような宗教は、宗教であっても信仰ではありません。

(藤木正三『神の風景』155頁)

私はかつて”健全な信仰”というのは多少なりとも不信仰を含むものではないだろうか、いや不信仰があつて初めて信仰は次の段階に進むのではないか”ということを述べたことがある。それは人間の心の八つの発達段階という考え方を言い出したE・エリクソンの発想に触発されたことであった。… すなわち、もし人が全き信頼を獲得してしまったら（幸いにもこの世界も、また親も不完全さを兼ね備えた存在であるから、そんなことは現実にはありえないが）、人はもはや次のステップに進むことができないであろうということである。

そこで私はこれと同様に、私たちの信仰心が全き完成の域に達してしまったら、その人の心は神に向かって目を上げることをやめてしまうかもしれないと考えたのである。このことは私自身の20年余に及ぶ信仰生活を振り返ってみてもよくわかることがある。すなわち、神に対する素朴な疑問や不平不満、あるいはある種の不信仰があったからこそ、さらに踏み込んで神を探求しようとしたのではないかということである。… 信仰者は悩んでもよいし、迷ってもよいのである。いや迷いこそ人間の本来的な姿であり、信仰生活に不可欠な要點であるとすらいえる。